社会貢献預金（笑顔プラス）の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金（笑顔プラス）の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク（京都地区）《地域づくり・防災》

理事長　牧 紀男

京都丹波・丹後ネットワークは、人と人が信頼でつながるネットワークを構築することにより、丹波・丹後地域のすべての住民がそれぞれの能力に応じ行う地域のための様々な活動を支援するとともに、地域の見過ごされてきた課題に向き合うことで誰もが暮らしやすいまちをつくることを目的に活動しています。

ここ数年は、福知山でも外国人労働者や外国にルーツを持つ人たちが年々増加し、コロナ禍による貧困や孤立などこれまで想定してこなかった課題が浮き彫りになってきていることから、「外国にルーツを持つ子どもたちへの支援」や「多文化共生を主軸にしたまちづくり」などを中心に、多様な組織と連携しながら、それぞれの家庭の状況にあった支援をめざし活動しています。

また、私共NPOの事務所における2014年の水害の経験を活かし、企業の技能実習生等に向けた防災研修や、一般向けスマホアプリを使った防災講習会なども開催しております。ご希望の企業様・団体様がございましたらぜひご連絡ください。

NPO法人 ここ（大阪地区）《子ども支援・不登校対策》

理事長　三科 元明

いじめ・貧困・虐待・発達障がい・精神疾患など様々な背景を持つ6歳から18歳までの不登校の子どもたちの学習支援、生活支援、居場所支援をフリースクールとして取り組んでいます。

子どもの数は減る一方で、学校に通うことのできない子どもは過去最多を毎年更新し続け、現在は約25万人の子が不登校となり、教育を受ける機会を失っている子もいます。18歳以下の子どもの自死も過去最多になっており、学校に行ける行けないが不登校の親子の命に関わる問題となっている社会課題の解決をめざします。

「フリースクールここ」は現在特色の違う3つの校舎を運営しており、子どもたち自らがカフェを運営したり、野菜づくりやたこ焼き屋の出店にキャンプなど、学校ではなかなかできない体験を通して仲間づくりや自尊心を育みます。

子どもたちがフリースクールでの経験を通し、「学校に行けない＝人生の終わり」ではないと感じ、前向きに不登校という経験を育めるようこれからも子どもたちと寄り添い活動をしていきます。

人をむすぶ、こころをつなぐ　社会貢献預金 笑顔プラス

社会貢献預金（笑顔プラス）は、「預金者の寄付負担（金利引下げ分の利息相当額）」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭に商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
https://www.facebook.com/kinkirokin/

近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金（笑顔プラス）の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。